

平成 30 年度防府商工高校「学校運営協議会第 1 回会議」報告

- 1 日時 平成 30 年 6 月 8 日（火） 午前 10 時から正午まで
 2 会場 地域連携室 1
 3 委員及び学校関係者

所属等	役職等	氏名
山口県立大学	副学長	田 中 マ キ 子
防府市総務部	部次長	石 丸 泰 三
防府市教育委員会	教育部長	原 田 み ゆ き
防府商工会議所	専務理事	徳 永 雄
	商業部 会長	坂 本 恵 次
	工業部 会長	潮 貞 男
	女性会 会長	倉 員 祥 子
防府観光コンベンション協会	会長	羽 嶋 秀 一
防府市地域協働支援センター	センター長	於 土 井 豊 昭
防府市立桑山中学校	校長	江 山 稔
同窓会（鳳翔会）	77 期幹事	中 野 瑛 梨
防府商工高校	P T A 会長	岩 崎 眞 治
	校長	小 土 井 実
	未来デザイン部 部長	黒 川 康 生

【事務局】 全日制教頭 矢上 定時制教頭 中司 ※中野委員：公務のため欠席

4 概要

- (1) 学校運営協議会制度等について説明（法・規則・要綱・会則）
 (2) 会長及び副会長選出 → 会長：田中委員、副会長：徳永委員
 (3) 議事
 ①学校運営方針について(教育目標・学校評価等) → 承認
 ②年間計画・取組内容について(地域連携教育年間計画等) → 承認
 ③学校教育ビジョンの策定に向けて～取組内容に対する提言・意見交換～
 ※委員からの提言・意見等

- 教育ビジョンの策定に向けては、社会の変化と教育が果たす役割を踏まえつつ、引き続き防府商工高校では、地域連携教育を教育活動の柱の一つとして推進してほしい。我々は、高校生が地域の人々や社会の人とつながりをもてる場づくりを積極的に支援したい。
- AI の発達、普及によりこれまで人間が行っていた労働の多くが代替されるといわれている。変化の激しい時代を生き抜いていくこれからの子ども達には、教育の場で「感性」を磨く機会を与えることが大切ではないか。色々な体験をすることで感性が磨かれ、同時にそこで培う縦、横の人間関係はさらに知識や物のとらえ方に広がりを持たせる。学校教育の中で評価の難しい領域であるが、「感性」は人間の総合力であり、これからの時代に求められる資質である。
- 地域を支える担い手として女性の活躍が一層期待されており、なかでも、リーダーとなりうる人材の育成が求められている。高校生が地域活動をするなかで、意識の喚起や人材の発掘にも努めていただきたい。
- これまで地域連携教育に携わってこられた先生方、地域の方々もいずれ世代交代の時期を迎える。現在は、地域の皆様が元気であり、子ども達を積極的に呼び込んでいるように感じる。世代交代によって今の教育活動が行き詰まらないために、ノウハウや人的ネットワーク等の引き継ぎが円滑に進むような仕組みをつくるのが大切である。
- 単年で終わる取組に加え、次期学習指導要領において育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえ、在学中の 3 年間にわたり活動する「企画もの」に挑戦してみるのもよいのではないかと。
- 企業は組織の維持・発展のため、少なくとも規範意識と主体的に学ぶ姿勢を身に付けた人材を採用したいと考えている。
- 地域と連携した活動を行っていく際には、「継続性」を念頭に置いてほしい。また、先生方がもっている専門的な知識や技術を、地域に還元してほしい。
- 学習ボランティアや出前授業等、中高生が一緒になって活動する機会を通じて、高校生の生の声を中学生に伝えてほしい。また、防府商工生が中学生にとって憧れの存在であってほしい。
- 教育の質の向上を図っていくためにも、先生方の働き方改革を進めていくべきである。先生方に、学ぶ時間や感性を磨く時間を確保する必要がある。

5 連絡事項

- ・第 2 回会議の期日について 平成 30 年 10 月 12 日（金）